

～ 水の中のハッピーハロウィン展 ～ 展示予定魚種

別紙

魚種	特徴	展示個体数
カクレマノミ 	学名：<i>Amphiprion ocellaris</i> スズキ目スズメダイ科 体長 2 ～ 3 c m 分布：岩礁域やサンゴ礁域浅場 ・オスが性転換（雄性成熟）をして雌になります。イソギンチャクと共生し、体表に粘液が多く、成長中にイソギンチャクの刺胞毒への耐性が徐々に出来るため刺されても平気なのとか。 【選定理由】カクレマノミは『クラウン』アネモネフィッシュと呼ばれる。クラウン＝ピエロはハロウィンの仮装で人気の仮装であるため。また、体色のオレンジ色がかぼちゃの色であるため。	2
ブラックゴースト 	学名：<i>Apteronotus allbifrons</i> デンキウナギ目アプトロトウス科 体長約 6 c m 黒い体色をしているのが特徴で、尾には白い柄があり、背びれが無く、腹びれと尻びれが繋がっている面白い体型をしています。ベネズエラ・ペルーが原産のナイフフィッシュの仲間。 【選定理由】名前のゴーストには幽霊、亡霊の意味があり、また、ゆらゆらと泳ぐ姿がお化けを連想させるため。	6
アカモンガラ 	学名：<i>Odonus niger</i> フグ目モンガラカワハギ科 体長約 12 c m 分布：紅海およびインド太平洋地域、日本南部からオーストラリアのグレート・バリア・リーフまで ・上顎に 2 本の赤く鋭い歯をもっています。アカモンガラの「アカ」は、この歯の色にちなむとされます。沖縄の漁業関係者の間では「ドラキュラ」と呼ぶこともあるそうです。 【選定理由】二本の赤い牙を持つことから“吸血鬼”“ドラキュラ”を連想させるため。	1
バイカラードティーバック 	学名：<i>Pictichromis paccagnellae</i> スズキ目メギス科 体長約 3 c m 分布：インドネシアなど西太平洋のサンゴ礁域 ・体は前半分が紫、後半分が黄色という 2 つの色に塗り分けられているのが特徴。英語名の「バイカラー」とは Bi(二つの)と color(色)という意味。英語圏ではこのほか「ロイヤルドティバック」と呼ばれることもあります。 【選定理由】ハロウィンカラーのため選定。	1

魚種	特徴	展示個体数
トランスルーセント グラスキャット 	学名： <i>Kryptopterus bicirrhys</i> ナマズ目ナマズ科 体長約10cm 分布：タイ、マレーシア ・体は頭部を除く全体が透けています。下あごの先端から二本の髭を長く前に伸ばしています。一般のナマズのように水底に潜ることはなく、中層に群れをなして、体をくねらせて泳いでいます。 【選定理由】透明な体でゆらゆらと泳ぎまわる様子がハロウィンに登場する幽霊（オバケ）や骸骨を連想させるため。	10
バンパイアクラブ 	学名： <i>Geosesarma dennerle</i> 十脚目 ベンケイガニ科 体長1cm 分布：インドネシア ・その恐ろしい名前から「生き物の血を吸う」という誤解を受けることがありますが、実際には死骸の分解物）や小型昆虫を食べる穏やかな性質です。夜行性の生態や、暗闇で怪しく輝く黄色い眼、そしてミステリアスな体色がドラキュラ伯爵を彷彿とさせたことから付けられた、マーケティング上のトレードネームに由来しています。	10
クラウンローチ 	学名： <i>Chromobotia macracanthus</i> コイ目アユモドキ科 体長：約3cm 分布：インドネシア ・学名は「棘のあるカラフルな魚」という意味。「クラウンローチ」とは、特徴的なオレンジ色と黒色の縞が交互に入る模様をピエロ(clown)の衣装の柄に例えたものです。最大で30cmほどまで大きく成長します。たまに横になって寝ている姿を見かけることもできます。	5
チェリーシュリンプ 	カワリヌマエビ属 体長：約1cm ・本来の色は茶色や緑ですが、アクアリウム向けとして赤や青、黄色などに変異したものが主に販売されています。野菜を補助食品として与えることができ、かぼちゃなどもたべます。	30

※展示魚種および個体数は変更となる場合がございますが、予めご了承ください。

計8種類 約65匹